

# 遠藤 守 レポート

お気軽にご意見・ご要望をお寄せください。

## 原油高騰の影響調査で、神津島を初訪問

年頭から、街頭での都政報告や、3月の定例都議会に向けた視察など、遠藤守は安心・安全の東京の構築と都民福祉の向上をめざし、全力で取り組んでいます。今月の主な行動を紹介いたします。

### ○基幹産業の「漁業」を直撃○

原油高騰が、離島生活に与える影響を調査するため、小磯都議（町田市選出）といっしょに、29日、神津島を初訪問しました。

村長や漁協組合長らからの意見聴取のなかで、最も要請の強かったのは、東京都の事業「伊豆諸島海上貨物運賃補助」の対象品目（現在19品目）に、暫定的でもいいから、ガソリン、軽油の2品目を追加して欲しい、というものでした。

漁船の燃料である軽油は、3年ほど前までは1リットル47円前後だったものが、現在は約101円と2倍以上。このため、漁師のなかには、燃料代節約のため、通常朝6時ごろ出漁すればいいものを、早朝3時には出発し、漁場までゆっくり船を走らせるなど、涙ぐましい努力をしているそうです。

### ○特別支援教育の先進校に○

区立小学校における特別支援教育の現状と課題を探るため、25日、世田区立松沢小学校を訪ねました。同校は世田谷区では唯一、肢体不自由・知的障害双方の特別支援学級を持つ、都内でも珍しい学校です。校長先生らの話によれば、普通学級との併設の最大のメ

リットは、特別支援学級との交流により、普通学級の児童に思いやりの心や人権意識が自然に養われる、とのこと。一方、今後の課題として、肢体不自由児を積極的に受け入れるだけのハード面の整備（バリアフリー化）が追いつかない、などの指摘を受けました。

### その他の行動・話題など

●警視庁総務部主催の武道始式に初参加し、剣道親善試合に。有段者たる警視庁幹部と竹刀を交えました。式次第の最後には、総務部長があいさつし、洞爺湖サミット開催を控え、首都警備に並々ならぬ決意を披露していました（23日）。

●知人のご紹介で、一昨年6月、シンドラー社製エレベーター事故によって、ご子息を亡くされたお母様と面会。メーカーが異なるとはいえ、都営住宅でも日夜多くのエレベーターが稼動しており、お母様からは大変貴重な意見をいただきました（26日）。

●昨年10月から、医師による分娩を休止している公社荏原病院で、遅くとも、来春から医師による分娩が再開されることが、このほど正式決定しました。産科医不足の現状と対策については、「遠藤守レポート」（2007年12月10日号）に詳しいですが、荏原病院は、城南地区を中心に年間約1000人の出産を取り扱っていただけに、1年後とはいえ、再開の見通しが立ったことは何よりです。